

黎明

仙台市立錦ヶ丘中学校
第一学年だより No. 6
2024. 5. 21



総合 防災学習

5月から総合学習の一環として、防災について学習しています。自然災害の備えなど、今後生活していく上で必要な知識を学んでいきます。また、過去の災害から様々なことを学ぶために、東日本大震災の内容も含みながら進めていきます。11月には、校外学習で、被災地でもある石巻方面や大川小学校などを訪問します。御家庭でも、防災の備えについて、話題に出していただければと思います。



ガイダンスを終えての感想を紹介します。

今回の授業を通して、「自助・共助・公助」の3つの大切さを学びました。でも地震が実際に起きたら、公助は全ての人に完全には行き届かないということが分かりました。

1年を通して、防災についてより詳しく知ることができるよう頑張りたいです。 Y,Y

災害がもし起こったとき、何か自分から行動したいと思いました。家ではまだ防災リュックを準備していないので、いざという時のために、家族で話し合っって防災リュックを作りたいと思いました。「自助と共助」が大事ということも分かりました。 Y,K

今日は、防災の大切さについて学び、考えることができました。「なぜ地域は、中学生の力を借りたいと思っているのか？」という質問のとき、あまりふさわしい解答をすることができなかつたけれど、他の人の意見をたくさん聞いて考えることができたので、よかったですと思います。

和さんが「小学生の世話も見られる」と言っていて、「確かに」とすごく納得できました。これから防災の学習を頑張っていきたいです。 F,T

今回の授業で、どうして中学生が必要とされているのかが分かりました。幸音さんの発表を聞いて、私たちの意見も求められているのかもしれないと思い、より災害に対する学びを深めていかないといけないと思いました。これからの学習で災害（東日本大震災）の知識を積み重ねて、詳しくなりたいと思います。 A,H

自分たちは大人、地域社会にとっても頼りにされているんだと思いました。先輩方もこのような学習を通して防災に取り組んでいることが分かりました。将来はどこに住むか分からないので、錦ヶ丘で起こりうる土砂災害以外についても学習しておかなければいけないと感じました。小学校で学んだことをさらに深めていきたいと思いました。 K,K

今日の授業を振り返って、ぼくはいろいろな事を学びました。それは、災害が起きた時に、中学生が大事だということです。中学生は、運動能力が高いので、力仕事ができます。「自助・共助」が大切ということも分かりました。災害が起きたときは家族や地域の人と協力し合うことが大切だということが分かりました。 S,H



災害がいつ起こるか分からないので、学んだことはしっかり生かそうと思いました。まずは、自分が自分を助けるような行動をとらないと地域の人や友達、家族を助けることができないので、まずは自分を大切にしようと思いました。今日学んだことは、災害が起きたときに使えると思いました。

Y, N

防災の学習をすることがとても大事だと改めて感じました。災害が起きたときに自分も錦ヶ丘の手伝いをしたいと思いました。「自助・共助」の力がとても大切だということが分かりました。これからこの災害についてしっかり学んでいきたいと思いました。

K, K

今回の授業でたくさんの人たちの意見を聞いて、中学生は頼られていると思うし、だからこそ自分たちは対策を学ばなければいけないと思いました。また、様々な意見を聞いて、防災を学ぶことが大切だと分かりました。そして、防災の知識はこれからも必要だと思いました。

S, S

スライドや他の人の意見を聞き、やはり防災は重要だと思いました。災害が起きた時には、避難所までの道のりや持ち物が大切だと思っていました。しかし、生存がかかっている72時間の話を聞き、自分の身だけでなく、自分の手によって助けられるかもしれない命があることを理解しました。数カ月前に、能登半島地震があったばかりですし、今回のスライドを見て、改めて助け合いが大切なのだなと思いました。錦中の校訓と似ているところがありますし、3年間じっくりと知識を固めていきたいです。

S, N

小学生と違い中学生は周りから「守られる」存在ではなく「頼られる」存在だということが分かりました。私は地震が怖いし、いやだけどだからこそしっかりと学び、知識を身に付けることで災害時に役立ち、怖さも少しは減るのではないかと思いました。1年生でしっかりと災害・防災について学び、活かせるようになりたいです。

S, M

小学校の時に習った、「自助・共助・公助」はやはりいつになっても防災に関して、とても大切になってくるんだなと改めて感じました。実際の災害時の公助の機能はほとんどないんだなとグラフを見て思いました。災害時で一番有効なのは、地域などの自助と共助だということが分かったので、日々の町内会などの関係性を築くのはとても重要だなと思いました。

A, R

当たり前の日が特別な日

毎日目にしてているものや人は、

当たり前ではなく、

奇跡の連続なんですね。

当たり前前に食べているご飯

当たり前前に動かしている体

当たり前前に存在している親

当たり前前にある環境

それらがある日、

無くなってしまうたら

どうでしょうか？

経験ある方は凄く

同感されると思います。

本当に当たり前前に思っていることって

当たり前前じゃなかったんだ。

と強く感じられたと思います。

淡々と日常が過ぎていくと

考えている人は

本当は、物凄く幸せな日常を

送っているんですね。

みらいねっとワークスより

